

メニュー オプションからのターミナル サーバの設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ターミナル サーバとしての Cisco ルータの設定と、ターミナル サーバに接続されているデバイスのアクセスを制御するためのメニュー オプションの使い方について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- ターミナル サーバの設定
- オクタル ケーブル

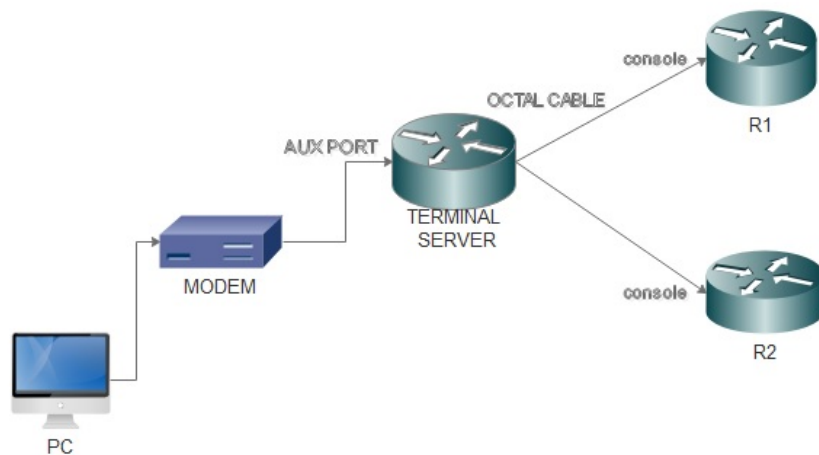
使用するコンポーネント

この文書の情報は、HWIC-8A などの非同期モジュールを搭載した Integrated Services Router Generation 2 (ISR G2) に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

設定

ネットワーク図



設定

ステップ 1：ルータのループバック インターフェイスを設定し、そこに IP アドレスを割り当てます。

```
Terminalserver(config)#interface loopback 1
Terminalserver(config-if)#ip address 10.1.1.1 255.255.255.0
```

呼び出します。ターミナル サーバからエンド デバイスへの物理的な接続を確認し、各デバイスに対応する回線番号をメモします。HWIC-8A は、出力で示すように 8 つの回線を提供します。

```
Terminalserver#sh line
```

Tty	Line	Typ	Tx/Rx	A	Modem	Roty	AccO	AccI	Uses	Noise	Overruns	Int
*	0	0 CTY		-	-	-	-	-	7	0	0/0	-
	1	1 AUX	9600/9600	-	-	-	-	-	0	0	0/0	-
	2	2 TTY	9600/9600	-	-	-	-	-	0	0	0/0	-
0/0/0	3	TTY	9600/9600	-	DTR-Act	-	-	-	2	3	0/0	-
0/0/1	4	TTY	9600/9600	-	DTR-Act	-	-	-	3	2	0/0	-
0/0/2	5	TTY	9600/9600	-	DTR-Act	-	-	-	0	0	0/0	-
0/0/3	6	TTY	9600/9600	-	DTR-Act	-	-	-	0	0	0/0	-
0/0/4	7	TTY	9600/9600	-	DTR-Act	-	-	-	0	0	0/0	-
0/0/5	8	TTY	9600/9600	-	DTR-Act	-	-	-	0	0	0/0	-
0/0/6	9	TTY	9600/9600	-	DTR-Act	-	-	-	0	0	0/0	-
0/0/7	10	TTY	9600/9600	-	DTR-Act	-	-	-	0	0	0/0	-

ステップ 3：次の例に示すように、各デバイスに IP ホストのマッピングを設定します。ポート番号は、各デバイスに対応する回線番号に 2000 を加えて求めます。たとえば、上記の出力で示すように、ポート 0/0/1 に接続されているデバイスの回線番号は 4 です。デバイスに接続するた

めのポート番号は 2004 (2000+4) となります。

```
Terminalserver(config)#ip host R1 2003 10.1.1.1
Terminalserver(config)#ip host R2 2004 10.1.1.1
```

ステップ 4 : メニュー オプションを設定するため、次の例に示すように、ターミナル サーバのバナーやタイトルを設定できます。

```
Terminalserver(config)#menu cisco title $
Enter TEXT message. End with the character '$'.
+++++
welcome to the Terminal Server
To exit from the device, use CTRL+SHIFT+6 then press x
+++++
$
```

ステップ 5 このコマンドは、メニューの選択オプションを提供するため、設定する必要があります。

```
Terminalserver(config)#menu cisco prompt $
Enter TEXT message. End with the character '$'.
Choose your option
$
```

ステップ 6 オプションを選択した後に [Enter] を押す必要があるように **line-mode** を設定してください。このコマンドを使用しないと、オプションを選択した直後にメニューが実行されることとなります。

```
Terminalserver(config)#menu cisco line-mode
```

ステップ 7 : 新しい接続を設定するため、次のメニュー コマンドを使用します。

```
Terminalserver(config)#menu cisco command 1 telnet 10.1.1.1 2003
Terminalserver(config)#menu cisco text 1 login to R1
```

ステップ 8 次のメニュー コマンドは新しい接続を開くか、または設定されたホストへの接続を再開します。

```
Terminalserver(config)#menu cisco command 2 resume R2 / connect telnet R2
Terminalserver(config)#menu cisco text 2 login to R2
```

ステップ 9 : メニューに入力した後で画面をクリアするには、次のコマンドを使用します。

```
Terminalserver(config)#menu cisco clear-screen
```

ステップ 10 : 画面の上部にユーザ ステータスを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Terminalserver(config)#menu main status-line
```

ステップ 11 : 次のメニュー コマンドは、メニューを終了するために設定する必要があります。

```
Terminalserver(config)#menu cisco command e menu-exit
Terminalserver(config)#menu cisco text e menu-exit
```

手順 12：ターミナル サーバの接続を終了するには、次のメニュー コマンドを使用します。

```
Terminalserver(config)#menu cisco command q exit
Terminalserver(config)#menu cisco text q disconnect from terminal server
```

手順 13：次のコマンドは、ユーザが Telnet またはセキュア シェル (SSH) 経由でログインしたときに自動でメニューを実行するために、VTY 回線で設定されます。

```
Terminalserver(config)#line vty 0 4
Terminalserver(config-line)#autocommand menu cisco
Terminalserver(config-line)#login local
Terminalserver(config-line)#transport input ssh
Terminalserver(config-line)#transport output all
```

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

R1 に Telnet します。

```
Terminalserver#menu cisco
```

```
+++++
welcome to the Terminal Server
To exit from the device, use CTRL+SHIFT+6 then press x
+++++
```

```
1 login to R1
2 login to R2
e menu-exit
q disconnect from terminal server
```

Choose your option

1

R1#

```
Terminalserver#sh sessions
```

Conn	Host	Address	Byte	Idle	Conn Name
* 1	10.1.1.1	10.1.1.1	0	0	10.1.1.1

R2 に Telnet します。

```
+++++
welcome to the Terminal Server
To exit from the device, use CTRL+SHIFT+6 then press x
+++++
```

```
1 login to R1
2 login to R2
e menu-exit
q disconnect from terminal server
```

Choose your option

2

```
Terminalserver#sh sessions
  Conn      Host      Address      Byte      Idle      Conn Name
  1          10.1.1.1    10.1.1.1      0          0          10.1.1.1
* 2          10.1.1.1    10.1.1.1      0          0
```

メニュー オプションの終了

```
+++++
welcome to the Terminal Server
To exit from the device, use CTRL+SHIFT+6 then press x
+++++
```

```
1 login to R1
2 login to R2
e menu-exit
q exit
```

```
Choose your option
e
```

```
Terminalserver#
ターミナル サーバの終了
```

```
+++++
welcome to the Terminal Server
To exit from the device, use CTRL+SHIFT+6 then press x
+++++
```

```
1 login to R1
2 login to R2
e menu-exit
q exit
```

```
Choose your option
q
```

```
Terminalserver con0 is now available
```

```
Press RETURN to get started.
```

トラブルシューティング

ターミナル サーバからエンド デバイスに接続しようとする、次のエラーが発生する場合があります。

```
Terminalserver#telnet R1
Trying R1 (10.1.1.1, 2003)...
% Connection refused by remote host
```

これを解決するには、次の例のように、ターミナル サーバから対応する回線をクリアすることが必要な場合があります。

```
Terminalserver#clear line 3
[confirm]
[OK]
Terminalserver#telnet R1
```

Trying R1 (10.1.1.1,2003)...open
R1>

関連情報

- [Cisco アクセス サーバの設定](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)